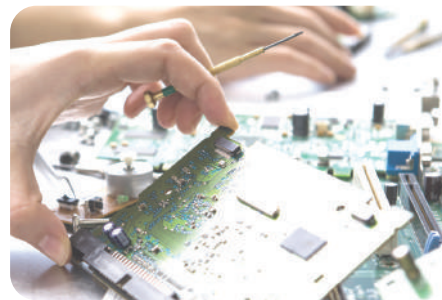


RFIDで暮らしを支える。



コンピュータソフトウェア業から始まったマトリックスは、レースタイム自動計測用ICタグを開発し第2のスタートを切りました。そして、入退出セキュリティ用、安心・安全管理用の製品を多く開発し成長してきました。これからも現状にとどまらず、期待を超える製品開発を目指し、新しいチャレンジを忘れずに、未来に向かって歩み続けてまいります。

- 1980** ● 共栄システムとして個人開業  
会計業務アプリケーションソフトウェアの受託開発
- 1985** ● 大阪市に株式会社マトリックスを設立
- 1993** ● 自転車レース計測用非接触ICタグの研究・開発の着手
- 1999** ● 自転車レースの自動計測システムを開発  
堺事業所開設
- 2000** ● 第1回スズカ8時間エンデューロを開催
- 2005** ● セミアクティブRFIDシステム「POWERTAG」を商標登録  
登下校メール通知確認システムを販売開始  
赤ちゃん連れ去り警報システムを販売開始
- 2006** ● 自転車チーム「マトリックス・パワータグ」を発足  
東京営業所開設
- 2010** ● 船橋事業所開設  
堺事業所を移転し南大阪事業所を開設
- 2014** ● 新型レースリーダー「MX7」を販売開始
- 2015** ● 作業員接近検知システム「ヒヤリハンター」を販売開始  
認知症高齢者徘徊通知システム「Box11」を販売開始
- 2018** ● POWERTAG BLEシリーズを販売開始
- 2019** ● 梅ヶ枝事業所開設
- 2021** ● マトリックスネクスト株式会社を設立
- 2022** ● 本社と梅ヶ枝事業所を統合し大阪市中央区に移転
- 2023** ● 工事現場用「ヒヤリハンター高耐久」を販売開始



会 社 名	株式会社マトリックス	設 立	1985年5月（創業1980年8月）
代 表 者	代表取締役社長 辻 義光	資 本 金	6,715万円
役 員	代表取締役社長 辻 義光 常務取締役 吉村 慎一 取 締 役 宗廣 葉子 執 行 役 員 島村千樹	事業内容	セミアクティブRFID製品の開発・製造・販売 RFIDソリューション提案 レースタイム自動計測機器の販売 レースタイム自動計測業務 サイクルイベントの企画・運営

所 在 地	本社 〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番2号 沢の鶴ビル2階 TEL:06-4707-6707(代表)／06-4707-6717(製造部)／06-4707-6675(営業部) FAX:06-4707-6708／06-4707-6718(製造部)  東京営業所 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目5番1号 サンパウロビル3F TEL:03-3500-0250 FAX:03-6278-7055  南大阪事業所(イベント事業部・チームオフィス) 〒592-0012 大阪府高石市西取石7丁目7番33号 TEL:072-340-1696 FAX:072-340-1698  船橋事業所(イベント事業部) 〒273-0011 千葉県船橋市湊町3丁目6番10号 アソルティ湊町102 TEL:047-407-1197 FAX:047-407-1198
-------	---

グループ会社	マトリックスネクスト株式会社 ( <a href="https://matrixnext.co.jp/">https://matrixnext.co.jp/</a> ) 〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目14番7号 和光ビル6F TEL:06-6315-7717 FAX:06-6315-7718 事業内容:RFID関連機器、防犯防災関連機器、ソフトウェア等の開発および販売
--------	--

株式会社マトリックス  
コーポレートサイト  
<https://matrix-inc.co.jp/>



株式会社マトリックス(イベント事業部を除く)は  
国際標準化機構(ISO)が定めた品質マネジメントシステムの国際規格である[ISO9001]の認証  
を取得







## 入退室を管理する

タイムカードやタッチ式の入退室管理だけでは、長時間労働の実態を把握することが困難です。タイムカードとは別に意識的な動作なしで記録できるタッチレス入退室管理を導入することで、実際の労働時間を客観的に把握することができます。タッチレスでの運用は、災害時の安否確認にも有効です。



## 作業員を見守る

近年、作業員の安全対策・事故防止への需要が高まっています。重機と作業員の衝突に関するヒヤリハットは日常的に発生しており、放置すると重大な事故につながります。ICタグを持った作業員を検知する「ヒヤリハンター」は物流・建設業界に広く普及し、2021年時点での導入実績は5,000台にのぼります。



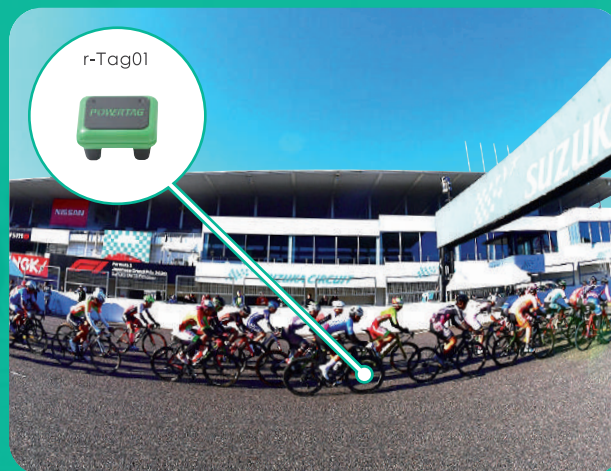
## 子どもを見守る

子どもが学校に着いたことや、もうすぐ帰ってくるのが分かるだけで、保護者の安心につながります。ICタグをランドセルに入れたまま校門を通過するだけで登下校を検知することができます。保護者に校門通過情報を通知するシステムは、保育園、小学校、中学校、高等学校で1,800校以上に導入され、30万人以上の子どもたちを見守っています。



## 赤ちゃんを見守る

日本でも入院中の赤ちゃんが連れ去られたという事件が発生したことがあります。そして今後いつ発生するかわかりません。ICタグを赤ちゃんに装着することで、連れ去り発生を検知することができます。万が一に備えることで病院全体の安全意識が高まり、赤ちゃんとお母さんが安心して入院生活を送ることができます。



## タイムを自動計測する

1990年代まで、自転車レースの計測はビデオカメラと目視で行っていました。1993年にレース計測用のICタグの開発に着手し、1999年に世界ではじめて製品化を実現しました。自転車レースの他に、マラソン、駅伝、モータースポーツ、競走馬の調教などで利用され、多くのレーススポーツの成功を支えています。



## 高齢者を見守る

認知症高齢者の行方不明者は年々増加しています。老人ホームなどの福祉施設を利用する高齢者がICタグを持つことで、離脱を出入口で検知することができます。施設の利用者が事故にあって行方不明になるリスクを減らすだけでなく、施設のスタッフが余裕を持って働くことができます。



マトリックスが開発した自転車レースの自動計測システムは、現在では国内の自転車・マラソンなどのレースタイム自動計測の分野でトップシェアを誇ります。

レースタイム自動計測業務

専門のオペレーターによる自転車レースの自動計測業務も行っています。



実績：  
ジャパンカップ、ツアー・オブ・ジャパン、ツール・ド・北海道、ツール・ド・台湾、全日本選手権ロードレース、国民体育大会ロードレース、全国高校総体ロードレース、大阪国際女子マラソン、福岡国際マラソン、実業団駅伝（女子）、全国高校駅伝、全日本大学駅伝、全国都道府県対抗女子駅伝、全国都道府県対抗男子駅伝、全日本実業団駅伝（ニューイヤーズ）、東日本女子駅伝、JRA 日本中央競馬会 美浦トレセン・栗東トレセン、JKA 日本競輪学校 他

サイクルイベントの企画・運営

サイクリススポーツのさらなる拡大を目標に、  
地域密着型のサイクルイベントを企画し各地で開催しています。



写真上：スズカ8時間エンデューロ 写真下（左）：おかやまエンデューロ 写真下（中）：チャレンジリーグ 写真下（右）：スズカウインターエンデューロ



MATRIX POWERTAG (マトリックスパワータグ)  
マトリックスがメインスポンサーを務める、2006年より発足した自転車ロードレースプロチーム。国内外のロードレースやトラック競技に積極的に参戦し、主催イベントでは参加者の安全のためレースサポートや講習会を行うなど、幅広く活動しています。

Photo by Itaru Mitsui, Satoru Kato

URL <https://team-matrix.jp/>

主な成績

RESULT

- 2017 ● TOUR de KUMANO 個人総合優勝  
経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ 優勝  
ツール・ド・おきなわ 優勝
- 2018 ● 全日本自転車競技選手権大会 ロード・レース 2位  
経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ 優勝  
Jプロツアー チーム総合2位、個人総合2位
- 2019 ● TOUR de KUMANO チーム総合優勝、個人総合優勝  
シマノ鈴鹿ロードレースクラシック 優勝  
経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ 優勝  
Jプロツアー チーム総合優勝、個人総合優勝
- 2020 ● 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ 優勝  
Jプロツアー チーム総合優勝、個人総合優勝
- 2021 ● ツアー・オブ・ジャパン 2ndStage優勝、チーム総合優勝  
Jプロツアー チーム総合優勝、個人総合優勝
- 2022 ● TOUR de KUMANO チーム総合優勝  
Jプロツアー チーム総合優勝、個人総合優勝
- 2023 ● 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ 優勝